

● 次の定例会は

**6月3日(水) 開会**

の予定です。

**本会議・委員会はどこでも傍聴できます。**

詳しくは議会事務局

**TEL 64-7716** まで

3月議会は延べ91名の方に傍聴いただきました。次回もたくさんの方の

**傍聴をお待ちしています**

ご存じですか? **たまむら議会だよりはホームページからも見られます!**



このコーナーでは、町内で活動しているみなさんのところに編集委員がおじゃまして、活動内容を伺っています。今回は、「ぬいもの工房」取材してきました。



**「改良ねまきでお役に立ちたい！」**

ぬいもの工房 (ボランティアセンター所属)

- ◎ **活動日と活動人数を教えてください。**  
A 毎週水曜日の午前中に活動しています。メンバーは5人です。協力していただける人を、随時募集しています。
- ◎ **主に、何を作っているのですか?**  
A 寝たきりの人のために「改良ねまき」を、また、あまった生地でバッグや巾着袋などもつくっています。
- ◎ **つくった品物は、販売しているのですか?**  
A 改良ねまき以外のものは、社会福祉協議会で販売しています(100円~)。また、バザーで販売した売上金で車椅子や草刈機を購入し、寄付したこともありました。
- ◎ **活動していて、感じることは?**  
A もっとたくさんの方々に、この活動を知ってほしいです。興味のある人は、お問い合わせください。

活動に関する問い合わせは…社会福祉協議会 電話 65-8864

ドアを開けると、そこには真剣にミシンをかける姿が…。地道な作業を楽しそうに進めていたのが印象的でした。やりがいを感じているんですね。とってもシャイだった皆さん。おじゃましてすみませんでした。



**改良ねまきとは…**寝たきりの人の着脱が便利にできるように、マジックテープ・ファスナーを使ってつくられたものです。ご希望の方は、民生委員を通じて社会福祉協議会へお申し込みください。(その場合は無料です)

**編集後記**

「読まれる議会だより」をめざして

▼町民の皆さんから「議会だよりを読んでいない」ということを時々耳にします。なぜ読まないのでしょうか。町民の皆さんが議会に関心がないか、関心が薄いからでしょうか。▼そういえば、年に4回開かれる定例会を傍聴される人は、多いときでも1日30人程度です。それでは、議会でどんなことが話し合われ、どんなことが行政に反映されたのかわかりません。▼それでは、どうしたらよいのでしょうか。まずは、議会の様子が皆さんの茶の間に入っていくようにする必要があります。例えば、一般質問や審議の様子を「ラヂオななみ」で放送する。あるいは、地区の公民館などで、町民と議員の懇談会を開く。議会を身近なものにし、家庭や地域で話題になるようにすれば、「議会だより」は自然と読まれるのではないだろうか。▼それは言っても、現実には厳しいのです。たくさんの方に読んでいただけるような「議会だより」をつくるため、今日も編集委員の苦悩と努力が続きます。皆さんのご意見・ご感想をお待ちしております。



ご報告。  
町田 宗宏

**議会広報特別委員会**

- 委員長 三友美恵子
- 副委員長 筑井あけみ
- 委員 原 幹雄
- 委員 島田 榮一
- 委員 斉藤 嘉和
- 委員 町田 宗宏
- 議長 石川 眞男



次号は8月1日頃お届けする予定です